

2023年3月23日

株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテイメント
取締役事業統轄本部長 前沢 賢 様

一般社団法人 北海道自然保護協会 会長 在田 一則
北広島森の倶楽部 会長 加藤 和子
北広島の自然を考える会 代表 三澤 英一

2月28日付け御社回答への再質問と要望

3月14日のオープン戦を皮切りに新球場での野球が開幕したことを心よりお喜び申し上げます。

市民はもちろんのこと、道内外の皆さんもエスコンフィールド北海道の開業を心待ちにしていたことと思います。また、先日はご多忙のところ、我々の質問や要望に対し、ご回答いただきありがとうございます。

ご多忙のところ大変申しわけありませんが、下記のとおり、再度、質問・要望申し上げますので、ご回答よろしくお願い申し上げます。

(1) 質問1のバードストライク、バットストライク対策について

ご回答では、「現時点でできる対策はとってきたつもりです」とありますが、どのような対策をとってこられたか、具体的内容をお知らせください。また「継続してモニタリングを行い、できる限り原因を見極めた上で必要な対策を取ってまいります」と回答されていますが、モニタリングはどのように行うのか、鳥類やコウモリ類などのストライクが確認されたとき、どのような対策を行うのかについてもご回答ください。

(2) 質問2のバードストライク・バットストライクの記録と公表について

ご回答では、ストライクの公表について消極的でしたが、ストライクの実態が部内秘にされると、「ストライクはなかった」ことにされはしないかと危惧しております。正確にストライクの記録をとり、鳥類・コウモリ類の専門家の意見を聞き、ストライク防止対策をこうじるべきと考えます。そのようなデータの蓄積や対策は、今後、都市公園そばに大きな建造物をつくる際の参考にもなると思います。ストライクの実態を我々自然保護団体と共有し、共に考えることで、より効果的な対策になると思います。ストライクの記録の取り方や公表の仕方は今後どうされるのかご回答ください。

(3) 質問3の騒音について

球場からの外への音漏れについては、会話レベル程度の音量ということで理解いたしましたが、開幕日の30日に航空自衛隊ブルーインパルスによる展示飛行が北広島市内上空で行われることが報道されています。レクリエーションの森付近でこのような航空ショーが行われた場合、爆音により繁殖期を迎える鳥の行動に多大な影響が出るのは必至です。新球場エスコンフィールド北海道と周辺エリアを含めた、北海道ボールパークFビレッジで、このようなセレモニーをはじめ、大音量を発する野外音楽イベントなどを行うことがないよう要望します。

(4) 質問4の花火について

花火を打ちあげる場合はレクリエーションの森や広島幼稚園やかましの森など希少動物の生息域から離れた場所（例えば、総合体育館側やJR千歳線の北東方向）で行ってください。また、オオタカやハイタカ、クマゲラなど希少鳥類の繁殖・子育て期を避ける配慮をお願いいたします。打ちあげの音量についても森に生息する野生動物に影響がでないようご配慮ください。

開幕前のオープン戦、開幕戦とその前後のスペシャルイベントなどの準備でたいへんお忙しいこととは思いますが、ご回答を4月24日（月）までに下記宛にくださるようよろしくお願いいたします。

一般社団法人 北海道自然保護協会会長 在田一則

〒003-0026 札幌市白石区本通1丁目南2-38 (Tel011-876-8546)